

広島県中小企業団体中央会 2020年1月分情報連絡一覧表

(食料品)

●食料品

広島県東部菓子商工業協同組合

組合員各社の努力により、明暗が分かれる状態が続いている。

地方発送のある企業は運賃負担の多さに疲弊しており、かなり収益を圧迫している。

(食料品)

●中国醤油醸造協同組合

1月の出荷量は前月比28.9%減少、前年同月比3.4%増加となり、売上高は前月比28.5%減少、前年同月比2.1%増加となった。毎年1月の売上高は減少傾向にあり、例年通りの動きとなった。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・令和元年12月の全国の住宅着工戸数は72,174戸で前年同月比7.9%減少
- ・季節調整済年率換算値では85.2万戸(前月比0.5%増加)
- ・利用関係別では、持家は22,294戸で前年同月比8.7%減少、貸家は27,611戸で前年同月比10.3%減少
- ・分譲住宅は21,593戸で前年同月比5.1%減少
- ・木造住宅着工は42,822戸で前年同月比8.5%減少
- ・住宅着工の動向については、前年同月比は6ヵ月連続で減少
- ・2019年の年間新設住宅着工戸数は905,123戸と5年ぶりの低水準

<広島>

- ・広島県内の12月の着工戸数は1,657戸で前年比5.7%減少、このうち持家は442戸で同2.2%減少、貸家は572戸で同34.4%減少、分譲は640戸で同52.0%増加
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比2ヵ月連続の減少となった
- ・地域別では広島市が着工戸数686戸で前年同月比32.7%減少、廿日市市が同75戸で同45.7%減少、呉市は18戸で同64.0%減少の一方、福山市は207戸で同9.5%増加、東広島市は166戸で同26.7%増加、尾道市は93戸で12.0%増加、三原市は36戸で38.5%増加、大竹市は28戸で75%増加と地域間、業者間で景況感に差が見られ、プレカットの稼働状況も依然高水準を維持しているが、先行き不透明感を訴える声も増えている。住宅市場の飽和感や人材不足、配送コスト高による採算悪化の声も多く、非住宅の大中規模建築の木造化や非住宅市場への木造普及の取り組みが顕著になる中、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

福山木材協同組合

今月の売上は前年同月比増加となったが、今後の先行きは厳しい予想である。

広島県北部国産材加工協同組合

好天が続く、山から原木出材量が安定している一方で、製品荷動きは低調である。

製品の荷動きが低調であるため生産を抑える動きもあり全体の供給量は増加していない。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

印刷業界は、後継者問題や人材不足、機械の老朽化、受注単価の下落など依然厳しい状況が少しずつ増している様に感じる。今までのやり方を見直し、出来ることを1つ1つやっていくしか方法はないと思っている。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

昨年10月からの消費税率引き上げにおいて、前回の様な駆け込み需要は発生せず、さらに第3四半期に入ってから自動車業界においては前年同月比7~8%の減少傾向で加速している。要因としては米中貿易摩擦の影響により輸出(特に米国、中国)が低迷していることが挙げられる。又国内販売においても少子高齢化の影響は大きい。消費税率引き上げが景気の腰折れの要因になりつつあるのではないかと感じている。企業として、残業削減、投資縮小、経費削減、新規採用停止など早急に対応しなければならない。中国・武漢発の新型コロナウイルスの影響により、世界経済の大幅な低迷が心配される。今年の春闘は厳しいことが予想される。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連の売上・操業度も減少傾向が続く中、今回の新型コロナウイルスの影響で、益々減少し、先行きが不安定となっている。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

2年 1月2,850m³ (前年比19.40%増加)

元年12月3,566m³

31年 1月2,387m³

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、フル操業が継続しているが、出荷のタイミングにより前月比26.9%減少、前年同月比40.2%減少となった。

国内外とも厳しい受注環境が継続しており、好転がなかなか見込めない状況である。

出島工業会協同組合

消費税率引き上げ後の反動減の影響が未だに続いている。

組合員企業の動向については、特に大きな動きはない。売上高は若干減少傾向である。当組合の課題としては、役員の高齢化と世代交代である。

(電気機器)

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

今月の売上は、稼働日数が少なかったため、前月比3.0%減少となった。前年同月比は7.0%減少となり、輸出の減少及び装置向けが低迷したことが主な要因である。

組合員から、副業は働き方改革と矛盾するのではないかと意見もある。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客 (マツダ) の業況 (生産台数) に比例している。

- ・1月の国内自動車販売台数は全需が360千台、前年同月比11.7%減少と4ヶ月連続の前年割れ。登録車は前年同月比11.1%減少と4ヶ月連続の前年割れ、軽自動車は前年同月比で12.8%減少と4ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同8.5%減少と2ヶ月振りの前年割れ
- ・アメリカの12月の全需は1,534千台で前年同月比5.8%減少と2ヶ月振りの前年割れ。マツダ車は同2.4%増加と3ヶ月連続の前年超え
- ・欧州の12月の全需は1,511千台で、前年同月比19.7%増加と4ヶ月連続の前年超え。マツダ車も同58.6%増加と4ヶ月連続の前年超え
- ・中国の12月の全需は2,740千台で、前年同月比3.0%増加。マツダ車も同19.2%増加と2ヶ月連続の前年超え
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の12月の海外販売合計台数は121千台、前年同月比8.1%増加と2ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの12月の輸出動向については、輸出台数は前年比12.8%減少と3ヶ月連続の前年割れ
- ・マツダの12月の国内生産台数は、前年同月比17.1%減少と3ヶ月連続の前年割れ

●輸送用機械器具 (造船)

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の令和元年12月の船舶建造許可実績は8隻、341,549総トンであった。(前月3隻151,850総トン、前年同月3隻140,850総トン)なお内訳は全てが輸出船で、このうち貨物船が6隻、油槽船が2隻であった。

(一社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

(卸売業)

●卸売業 (総合)

協同組合福山卸センター

消費税率の引き上げや新型コロナウイルスの影響が除々に表れてきている。

協同組合広島総合卸センター

人手不足、人件費や物流費増加の負担はあるものの、景況感全体では前月比と大きな変化はない。

「雑貨」においては、販路縮小や経費増加から、やや先行き見通しに悪化の懸念がある。

「資材」においては、当面は横ばいを見込んでいる。

「食品」においては、消費税率引き上げの影響、競争激化や経費増大もあり、横ばいからやや悪化の見通しである。年末の売上は前年比減少。販売先の廃業等による売上減少等不安な動きもある。

「繊維」においては、経費負担の増加はあるが、既に底であるため、当面は横ばいの見込みである。

新型コロナウイルスの影響で中国からの仕入、インバウンド需要の減少が懸念されるなど今後の先行きは不透明である。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の11月の着工状況は、前年同月比22.1%減少、内訳としては持家が前年同月比4%減少、分譲が同24.4%減少、貸家は同19%減少。

住宅着工より、電設資材仕上の先々予測としては、持家は5月頃の仕上が減少、貸家は8月頃の仕上が減少、分譲は11頃の仕上が大幅減少することが予想される。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

消費税率引き上げの影響が続いている。

キャッシュレス決済の比率が高まり、資金繰りへの影響が出始めている。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

びんご畳表の相場は横ばいで推移しており、販売量は一服の状態である。2月～3月の需要増加に期待している。一方、九州熊本では相場は強気で推移している。ただし、受注に陰りもあり、今後に期待している。

中国産畳表は、需給バランスを考慮した商いが続いている。また、新型コロナウイルスの影響で今後の輸入に陰りも見られる。

日本国内では全般的に受給バランスはとれている模様であるが、あまり大きな受注は発生していない落ち着いた環境であると見ている。

近年、畳表に対する関心やニーズがあまり感じられない畳離れが進んでいると思われる。本物の畳の良さや快適さをもっと消費者までPR、浸透させていきたい。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

消費税率引き上げによる家計への負担が増す中、節約志向はより高まっており、鮮魚、青果とも前月と比べ景況感が急激に冷え込んでいる。

大手スーパーのポイント還元や安売り競争に加え、記録的な暖冬が追い打ちをかけ、冬物商材が伸び悩むなど中小鮮魚、青果小売店は売上減少が続き収益も悪化している。

協同組合三次ショッピングセンター

働き方改革による元旦休業による売上減少、人手不足による臨時休業店が増え、全体的に売上の落ち込みが続いている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比6.7%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比6.6%減少、冷蔵庫同14.4%減少、洗濯機同9.6%減少、IHクッキングヒーター同12.4%減少、電気温水器同11.3%減少、エアコン同7.2%減少となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

イラン情勢や中国での新型コロナウイルスの拡大などにより、原油価格の振れ幅が大きい。その上、暖冬の影響で車用、暖房用共に需要の落ち込みが大きく、資金繰りが心配される。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

売上高、景況感ともに大きな変化はない。

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

暖冬による冬物衣料の不振が大きい。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比27.1%減少、前年比17.1%減少

車検場収入は、前月比27.6%減少、前年比7.8%減少

重量税・登録印紙の売上は、前月比20.8%減少、前年比6.0%増加

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

今月は、例年にないほど仕事量が減少し、それに伴い売上も減少した。年度末に向けての受注に期待し

ている。

●警備業

広島県警備業協同組合

人手不足が続いている。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、1月度は前月比75.1%増加となったが、前年同月比9.7%減少、前年累計比6.7%減少となった。12月がかなり低調であったため、今月は3品目ともに前月比のみ増加した。

今月は少し盛り返したものの、2、3月も大きな上昇は見込めない。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受付件数は、前月比54.8%減少、前年比2.2%増加となった。前月比大幅な減少となったが要因は不明である。

今年度の工事受注額は例年に比べて増加傾向にあるが、作業員不足によりやむを得ず断るしかない状況である。電気工事業界への若手作業員の就職率が上向きような施策を希望する。

(運輸業)

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

1月の売上は曜日の関係で例年と比べると稼働日数が少なく、前月比変化なし、前年比減少となった。収益状況も売上高と比例して前月比不変、前年比減少となった。

季節商品等を製造しているメーカーが荷主の運送会社においては、暖冬の影響を受けているようであるが、当地区では大きな影響はない。東京オリンピックに向けてこれから貨物輸送量が増加していくことを期待している。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

1月の荷動きは、毎年12月の反動があるため今年も反動が懸念されたが、中旬以降は安定して堅調に動いた。

広島輸送ターミナル協同組合

1月は稼働日数が少ない上、閑散期になるため収益は減少するが、今年例年以上に荷動きが悪く、売上は前年同月比で悪化した。

働き方改革関連法の施行により、有給休暇の取得や拘束時間の規制により、輸送距離や輸送量がさらに制限され、益々収益を圧迫している。運賃値上げと輸送の仕組みを変えて行く必要がある。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月は、年末から一般鑑定の仕事量が増加し、前月比、前年同月比ともに売上、収益ともに好転し、資金繰りも良好である。

市町の固定資産税標準宅地評価作業、国土交通省の地価公示評価作業、国税の相続税標準宅地評価作業等により年度末にかけて鑑定士業務は多忙となる。

地価はホテル、マンション建設用地の需要が強く、依然として上昇基調で推移している。土木、建築業界は依然として人手不足で、工事の進捗が遅れている。